



何か新しいことを始めようと思われている友人の方、  
タイへ旅行計画を立てられている友人の方など

そのような方にもブログとメールマガジンはもしかしたら  
役に立つかもしれません。

ブログのリンク先の企業では  
日本語送迎サービスをしている企業などもあります。

さらに、「D-MARKマガジン」と言う  
タイ観光庁、タイ国際航空協力のフリーマガジンもあります。  
紙質がとてもよいものを使っています。

無料ですので是非手に取ってもらえたら幸いです。

<http://www.d-mark.jp/>

□□ No1 タイ株初心者編です ■■

早速タイ政治ではサムック党首を中心として  
いくつかの経済政策が行なわれていくようです。

- 1 : 高架モノレール&地下鉄を延伸・新設を含め9路線へ拡大。  
総工費は5000億バーツ：およそ1兆8000億円を超える見通しです。
- 2 : 短期流入外貨の30%預け入れ規制の解除の方針  
こちらは第二四半期？
- 3 : 観光旅行者数の増加を図る  
運輸系に恩恵??

いよいよタイ経済が盛り上がって欲しいです。

その前に  
初心者向けにお話すると <前号の続き>

<タイのこれまで>

2004年の終わりにインド洋大津波が発生。  
タイ国側でも多数の死傷者が出ました。  
このニュースはタイの南部を中心として  
被害の状況が報道されていたのを覚えておられる方も多いと思います。

2005年2月はタクシン首相率いる

タイ愛国党がタイ下院選挙史上初めて単独過半数377議席を獲得。  
しかしタクシン首相への反発ムードはこれから徐々に高まってきます。

マスコミ系からの反発やタクシン派と反タクシン派の  
衝突がこの頃からすでに出てきていました。

2006年一番大きな事件が  
シンコーポレーション株売却問題です。  
タクシン首相の家族名義によるシン・コーポレーション株売却が  
きっかけとなり、売却益税を支払わないスキーム・他国へ通信旗艦企業を  
売却したことを批判する市民団体のデモがひんぱんに起こるようになります。

当初は数百人規模のデモは  
スクンビット大通りを止める数万人規模のデモとなり、  
カーボム事件、閣僚内の対立、そして暗殺未遂疑惑など  
次々と発生します。

そして・・・。

<次号に続きます。>

□□ No2 タイ株上級者編です ■■

タイ株の上場企業詳細のコーナーを作りました。

●● バンクタイ(BT) 033 です。 ○○

こちらタイの中堅銀行になります。  
タイ銀行と直訳してしまうと中央銀行と間違えてしまいますが、  
1998年に設立された銀行で、FIDF  
(Financial Institutions Development Fund)と  
米国系投資会社TPGニューブリッジの2つが大株主になります。

2007年にTPGニューブリッジが資本参加しています。

もともとは、アジア通貨危機で経営破たん一時国有化された  
ユニオン銀行(UB)とファイナンス会社十数社、  
国営ノンバンクのクルンタイ・タナキット(KTT)  
などが統合して設立された経緯があります。  
当時、FIDFが経営再建のため資金注入を行い、  
90%以上の株式を保有していましたが、2002年から保有株を一部放出し、  
出資比率を引き下げていきました。

□□ No3 タイ国内ニュース編です ■■

いよいよタイの新政権が出来、タイの各政治家や閣僚メンバーは香港詣でを行なっているようです。  
理由は香港滞在中のタクシン首相を訪問しているようです。

閣僚のメンバーもタクシン色が色濃く反映されていて、  
今後もタクシン元首相の影響力は強く残っていくものとされています。

それと各銀行が特別金利キャンペーンを積極的に展開しています。  
バンコク銀行やカシコーン銀行など各支店では現在定期預金を組むと特別金利を提供するキャンペーンを行なっています。

控えるメガプロジェクトに向けて銀行でも資金準備を進めているとのニュースもあります。  
現実味を帯びてきたメガプロジェクトも楽しみです。

タイの不動産投資もそろそろ。。。。  
面白くなりそうな気配です。日本と違っていろいろと制約がありますが、  
タイもそろそろ一定の制限を緩和していく可能性もあります。

日本人にとって手頃な価格帯のバンコクのコンド(スクンビット地区以外)あるいはプーケット、サムイ、フアヒン辺りの高級リゾートその両面でニーズが今後膨らんでくるのではないのでしょうか。

□□ No4 追伸です ■■

少々先の話ですが

日本では代々木公園にて「タイ・フェスティバル」が開催されます。

タイフェスティバルを知らない方はこちらへ。  
<http://www.thaifestival.net/>  
日本に住むタイ好きな人向けに非常に面白いお祭りが2日間開催されます。

2008年度は5月10日(土)、11日(日)のようです。  
10:00～20:00までの開催です。

なんと2007年は30万人以上が来場。  
タイの認知度が年々上がっています。

タイ大使館でも告知が開始されています。

<http://www.thaiembassy.jp/rte1/content/view/722/73/>

この時期は予定を空けておいて東京でタイフード、タイ製品  
タイ文化を満喫できると思います。  
(現地に比べると高いのがネックですが・・・)

タイの企業を詳細に解説した

「タイ株完全マニュアル企業情報編41社」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4775990500/asianstocktha-22/ref=nosim>

タイ株取引をどうやって始めるかを解説した

「タイ株完全マニュアル口座開設改訂版」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4775990551/asianstocktha-22/ref=nosim>

タイで働いた経験やタイビジネスをまとめた

「タイビジネスは止められない」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4778200527/asianstocktha-22/ref=nosim>

そして

タイの企業をデータよりもその背景を解説した

「日本人が知らなかったタイ株」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4798115460/asianstocktha-22/ref=nosim>

以上の書籍の感想等、

読まれた方からも是非いただけると幸いです。

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4798115460/asianstocktha-22/ref=nosim>

最後までお読みいただきましてありがとうございました！

<有料会員ご希望の方はこちら>

『 タイの現地で詳しく調べるタイ株情報 』

<http://www.thaistock.jp/tips.html>

<タイ株の阿部を詳しく10秒で知りたい方はこちら>

<http://toatoa.jugem.jp/?month=200407>

阿部

---

●注意事項です

- 1：こちらのメールマガジンは客観的情報の提供を目的としており、投資等の勧誘または推奨を目的としたものではないことをご了承ください。
- 2：タイの情報については細心の注意を払っておりますが、その内容に相違が発生する場合もあり、保証するものではありません。
- 3：タイの株式売買決定は自己責任でお願い致します。

□□□□□□□□■□□□□□□□□□□

阿部 俊之

TOSHIYUKI ABE

Managing Director

ASEAN JAPAN CONSULTING Co.,Ltd.

TEL 001-66-81441-2303 (Direct Call)

JP +81 5055395053 Call (IP電話)

E-mail info@asean-j.net abe@thaikabu.net

(今後は電話でもメールでも受付いたします。)

Blog <http://toatoa.jugem.jp/>

Homepage <http://thaikabu.net/>

<http://www.newsclip.be/blog/kabu/>

ニュースクリップにてブログ連載中です。

<http://worldinvestors.jp/>

ワールドインベスターズにて

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

